

37ページ表 1 正誤表

介護区分	誤			正		
	介護報酬		算定のための要件	介護報酬		算定のための要件
居宅サービス	居宅療養管理指導費（Ⅰ）	単一建物居住者以外のものに対して行う場合 544単位/回	通院が困難であり、厚生労働大臣が定める特別食が必要な利用者が対象。医師の指示のもと利用者宅を訪問して栄養管理計画に関する情報提供と具体的な指導を概ね1回30分以上行った場合に算定。（2回/月算定可）※	居宅療養管理指導費（Ⅰ）	単一建物居住者以外のものに対して行う場合 545単位/回	通院が困難な者に対して、医師が当該利用者に対し厚生労働省通知による特別食を提供する必要性を認めた場合、または低栄養状態にあると医師が判断した場合に、居宅療養管理指導事業所の管理栄養士が、計画的な医学的管理を行っている医師の指示に基づき、当該利用者を訪問し、栄養管理に関わる情報提供および指導または助言を30分以上行った場合に月2回を限度として算定される。この他、急性増悪等により一時的に頻回の栄養管理を行う必要がある場合に、通常の居宅療養管理指導に追加で2回を限度として算定できる。離島中山間地域の要支援者・要介護者に対しては、1回につき、特別地域加算（所定単位数の100分の15）、中山間地域における小規模事業加算（所定単位数の100分の10）中山間地域に居住する者へのサービス提供加算（所定単位数の100分の5）がある。
		単一建物居住者2～9人の場合486単位/日			単一建物居住者2～9人の場合487単位/日	
		単一建物居住者10人以上の場合443単位/日			単一建物居住者10人以上の場合444単位/日	
	居宅療養管理指導費（Ⅱ）	単一建物居住者以外のものに対して行う場合 524単位/回	（Ⅰ）の基準にも適合する指定居宅療養管理指導事業所以外の医療機関、介護保険施設に厚生労働大臣が定める管理栄養士の人数を超えて管理栄養士を置いているもの、または補助の管理栄養士を1名以上配置しているものに限る。または栄養士会が運営する栄養ケアステーションとの連携により確保した管理栄養士が（以下（Ⅰ）と同様）	居宅療養管理指導費（Ⅱ）	単一建物居住者以外のものに対して行う場合 525単位/回	当該事業所以外の他の医療機関、介護保険施設、日本栄養士会または都道府県栄養士会が設置・運営する「栄養ケア・ステーション」等と連携して、当該事業所以外の管理栄養士が居宅療養管理指導を実施した場合に算定できる。
		単一建物居住者2～9人の場合466単位/日			単一建物居住者2～9人の場合467単位/日	
		単一建物居住者10人以上の場合423単位/日			単一建物居住者10人以上の場合424単位/日	